

Trust (信頼)

今年度開講した救急領域パッケージはこんな力を育てます

救急領域パッケージの学習の概要

区分別科目 252時間

臨床病態生理学
臨床推論
フィジカルアセスメント
臨床薬理学
疾病・臨床病態概論
医療安全学/特定行為実践

区分別科目 78.5時間

呼吸器関連(気道確保に係るもの)
呼吸器関連(人工呼吸療法に係るもの)
動脈血液ガス分析関連
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

習得する特定行為

- ①気管内チューブの位置調整
- ②侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ③非侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ④人工呼吸器管理がなされている者に対する鎮静剤の投与量の調整
- ⑤人工呼吸器からの離脱
- ⑥抗けいれん剤の臨時的投与
- ⑦直接動脈穿刺による採血
- ⑧橈骨動脈ラインの確保
- ⑨脱水症状に対する輸液による補正

今年度の受講者の声(共通科目が修了時のインタビュー)

①受講の動機 ②受講中の気持ち

救命救急センター
看護師14年目
種子 和也 さん



演習中、しっかりと課題を発表しています

①現在、フライトナースとして活動している。その中で、患者さんの症状から疾患を想定しながら観察や処置・ケアを行うための自分のポケット(能力)を増やしたい。

医師との情報共有のためのコミュニケーション力を高めたい。と思ったから
②今まで自分のもっていた視点より、はるかに解剖生理・病態・薬理作用などの視点をもって患者を見つめることは難しい。膨大な学習量を消化できるのかプレッシャーを感じていたが、共通科目修了試験をクリアしたら楽になった。知識が増えていくことを実感している。受講して良かった。

7階西病棟
看護師20年目
村上 彩 さん



超音波エコーで血管の確認に必死です

①昨年の研修説明会に参加して、自分の所属施設で受けられる研修があることに魅力を感じた。今まで後輩の指導をしている時に自分が今のままでは不足があるので何か能力を高めたいと考えていたが、自分の家庭・年齢のことを考えると踏み出せずにいたのでチャンスと思い受講を決めた。

②今までの自分の知識が浅かったと感じている。医学的な視点をもって患者を見つめる力が備わり、看護に活かすことができると感じている。共通科目の渦中はレポート提出期限に追われ、膨大な学習を消化するのが大変だった。まだ定着していない知識が沢山あるが、臨床推論・フィジカルアセスメントの学習を看護に活かせるように思っている。

この研修の機会を大切に
して頑張る

先生の臨床でのご経験を
含めた丁寧で、緊張を和ら
げながら進めてくださる
演習に感謝しています



救急領域パッケージの演習・実習・臨地実習
指導者 佐藤 大三先生

救急領域パッケージでの学びは、急性期病院である当院の看護師の観察・アセスメント力を高めます。

そして、病態生理学や臨床薬理学の学びの中で、患者さんの意思決定に必要な医療者が行うべき説明事項に関連する知識を蓄積できます。臨地実習では、患者さんの苦痛の軽減や回復に向けて看護師が自律したケアができるような力を育てるための学習内容です。救急領域で働く看護師は勿論ですが、当院で働く看護師皆さんが能力アップできる研修です。